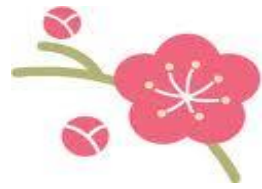


# ファミリー



小野市立河合中学校 小野市三和町 983-2

## 学校評価と分析について

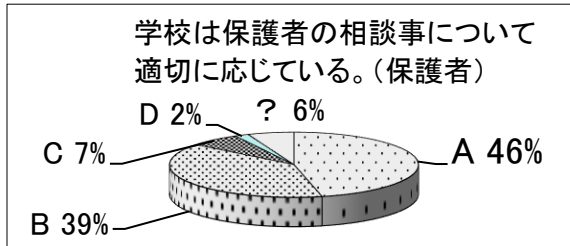
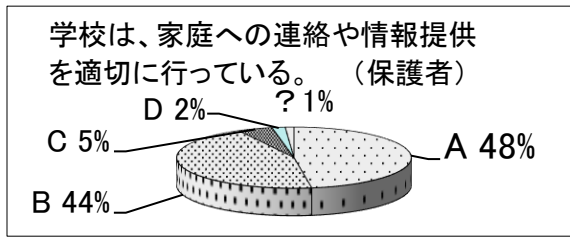
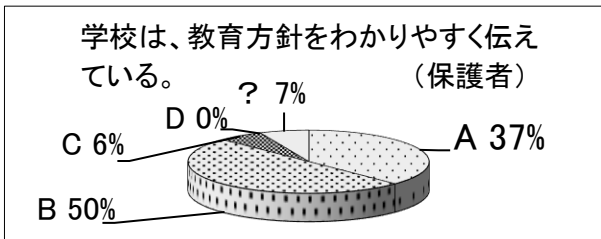
小野市立河合中学校長 阿尾 剛

平成30年度が終わろうとしています。保護者の方とともに歩んできた1年間でした。多くのご協力、ご支援ありがとうございました。

さて、学校教育活動に関するアンケートの回答をもとに、集計結果を分析し、今後の方向性について以下のように検討しました。

### アンケート結果の見方について

アンケートは6～9年生の保護者と児童生徒を対象とし、各質問内容について、「A=そう思う」、「B=ややそう思う」、「C=あまりそう思わない」、「D=そう思わない」、「?=判断できない」の選択方式で実施しました。分析は「A・B」を肯定的な評価と捉え、類似する質問ごとに総括し、主だった内容について取りまとめています。

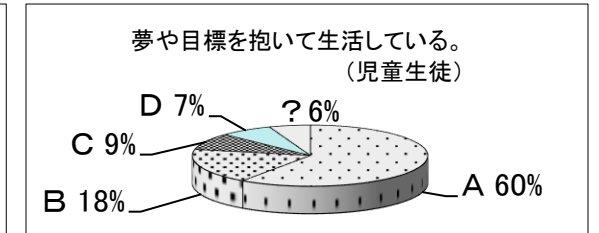
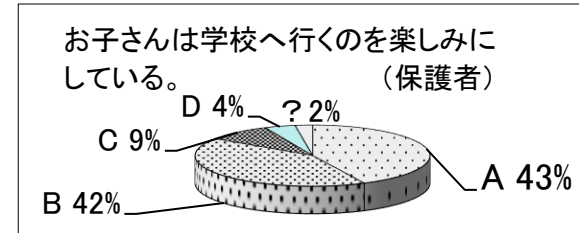


### 家庭・地域への情報提供と連携

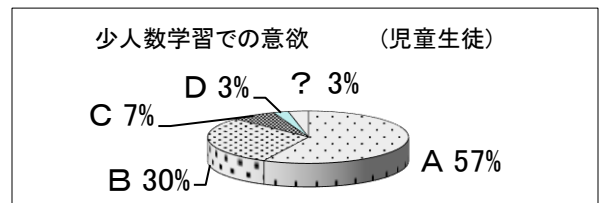
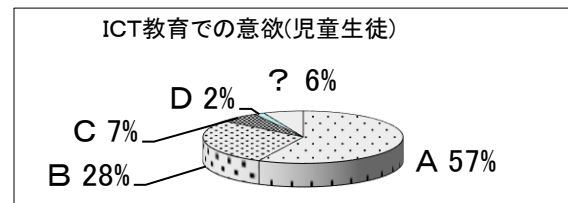
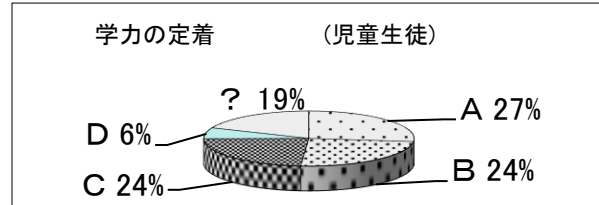
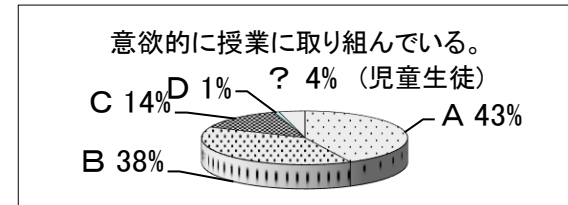
本年度、「教育方針をわかりやすく伝えている」と、「保護者の相談事に適切に応じている」という項目では8割の肯定的評価をいただいています。その中でも、「家庭への連絡や情報提供を適切に行っている」という項目での肯定的評価は9割以上となっています。これに甘んじることなく、学校だより『ファミリー』や学年通信の発行、または「マメール」による情報提供をさらに充実させていきたいと考えています。

児童生徒の状況を細やかに把握し、その情報を保護者の方と迅速に共有できることが小規模校の利点でもあります。これからも、家庭や地域とのパイプを太く保ち、児童生徒の健やかな成長を育みたいと思いますので、本校教育へのご理解・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 2 学校生活の充実度

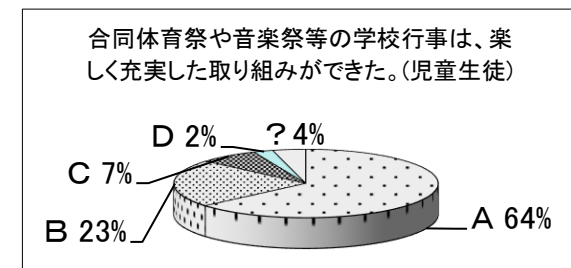


「おさんは学校へ行くのを楽しみにしている(保護者)」や「夢や目標を抱いて生活している。(児童生徒)」の項目について、8割前後の保護者の方や児童生徒が肯定的に捉えているのが分かります。今後もより一層、保護者の方のご意見や児童生徒の声に耳を傾け、学校という場を学習や学級活動、友とのふれあいや部活動などで様々なことを学び、成長する場にしていきたいと思っています。

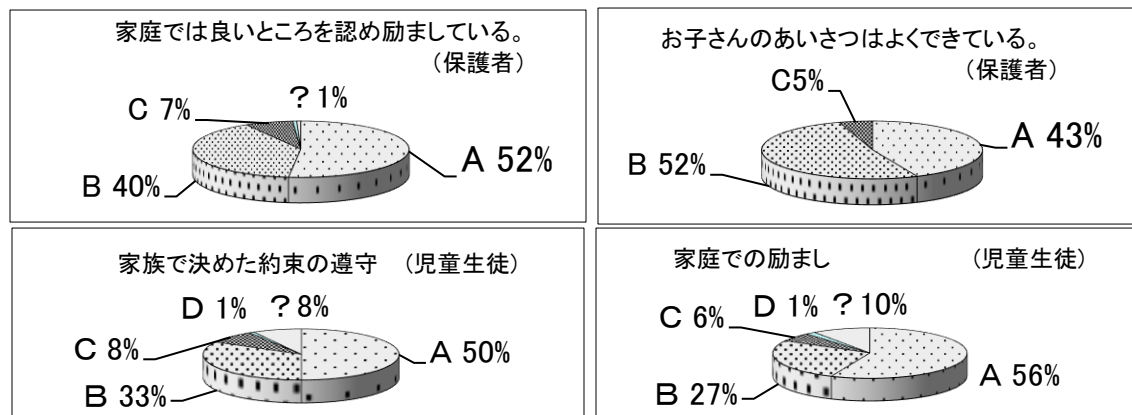


「授業への取組」については、8割以上の児童生徒が意欲的に取り組んでいると回答しています。また、「少人数学習での意欲」や「ICT教育での意欲」についても、8割以上の児童生徒が肯定的にとらえています。授業参観等でご覧いただいているように、どの学年も落ち着いた授業態度で、発表や授業に臨む姿勢も良く、意欲的に取り組むことができます。その一方、「学力が定着してきている」については5割程度にとどまっています。全国学力テストや到達度テストの結果から見て、本校児童生徒の学力は良好な結果なのですが、本校児童生徒にはもっと学びたい、できるようになりたいという高い意欲があるようです。その意欲を、学力が確実にしているという実感につなげられるよう、学校全体で更に基礎基本の定着と授業改革に取り組んでいきます。

「学校行事への取り組み」については、約9割の児童生徒が意欲的だったと回答しています。体育祭や音楽祭などの学校行事は、児童生徒にとって深く心に残るものです。そのような学校行事を児童生徒会が中心となって運営することによって児童生徒の主体性が育まれていきます。特に体育祭では演技を完成させるために児童生徒が前に立って練習を進めていく場面が多くあります。上級生がリーダーシップを発揮し、下級生が憧れをもつなど、1～9年生のつながりが強くなっています。このように学校行事で主体性を伸ばし、さらにその後の学校生活にも生かす力をつけるために教師がどのように支援していくか、どのような準備をしていくかをこれからも考えていきたいと思っています。

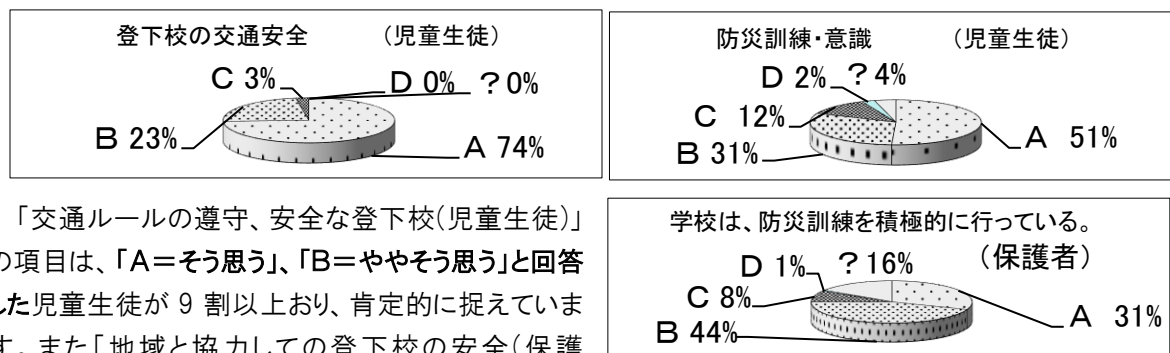


### 3 家族との関わり・家庭生活



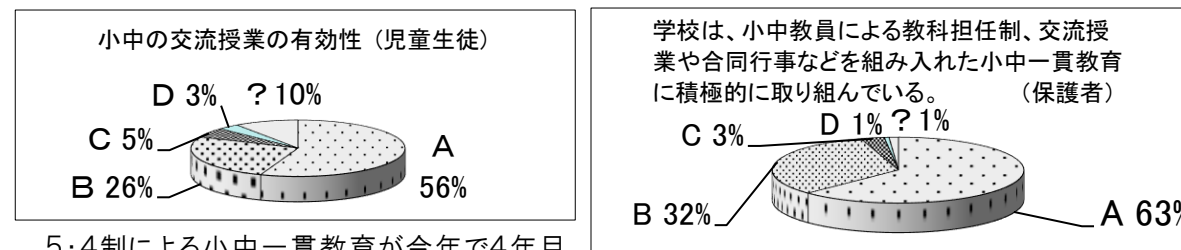
上記の集計結果からも、今年度も本校の児童生徒は、ご家庭で家族と楽しい会話の時間をもち、ほめられたり励まされたりしながら、落ち着いた毎日を過ごしていることがうかがえます。各家庭でのご指導が行き届いているからこそ、子どもたちの健やかな成長につながっているのだと思います。しかし、児童生徒たちの生活の過ごし方に少しの変化が感じられます。ゲームや Youtube などの影響か、学習時間や睡眠時間など規則正しい生活が送れていないと感じている児童生徒の数値が増えています。児童生徒たちは家庭で決められた約束は守ろうとしていますので、今一度、ご家庭での時間の使い方を話し合うきっかけにさせていただけたらと考えています。

### 4 安全な登下校、防災訓練・防災意識の高揚



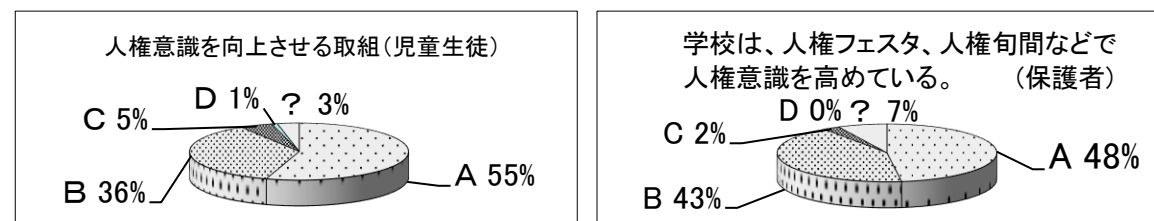
「防災訓練・防災意識」については、8 割以上の児童生徒が高まったと回答しています。今年度も避難訓練を事前に知らせずに行うなど、より緊張感を持って取り組むよう工夫をしました。また、実際に在校中に地震が起き、自主的に机の下に隠れた生徒や、西日本豪雨の際には河合中学校・小学校に避難した児童生徒がいました。身をもって災害の恐ろしさを経験したことが意識の向上につながっていると考えています。また、今年度は阪神淡路大震災追悼集会で、実際に被災された方にお話を伺いました。今後も自分で考えて行動できる防災教育を進めていきます。

### 5 小中一貫教育の推進



5・4制による小中一貫教育が今年で4年目を迎えます。保護者の方からは「小中教員による教科担任制、交流授業や合同行事などを組み入れた小中一貫教育に積極的に取り組んでいる」という項目において95%以上の肯定的評価をいただき、小中一貫教育への深いご理解が伺えて大変感謝しております。また、中学校舎で過ごしている6年生児童の9割以上、児童・生徒全体の8割以上が「小中交流授業は有効である」と回答しています。今後、小中の教職員がさらに一体となって、「他者と共創し、主体的に学ぶ児童生徒の育成」という教育目標を実現するべく精進していきたいと考えています。そして、現在、「小中一貫の有効性」を実感しておられる保護者の方の「7割」という数字をさらに高められるよう、学校評議員会や、小中一貫教育運営協議会等でのご意見を参考にしながら、さらに充実させていきたいと思っています。

### 6 人権・心の教育



「人権フェスタ、人権旬間などで人権意識を高めている(保護者)」の項目では、ほとんどの方が肯定的に回答をしてくださいました。9年生を中心として、児童生徒たちが自分を見つめなおすきっかけになり、地域への啓発活動にもなっているのだと感じられました。また生徒たちの「人権意識を向上させるとりくみ」も高評価でした。人権教育に力を入れ、それぞれの学年で年齢に応じた取り組みを行うことができた結果だと感じています。これからも、道徳学習や様々な行事を通して、思いやりや心の豊かさを培っていきよう進めていきます。

### 7 総括

保護者の方には、お忙しいところ学校評価アンケートに回答していただきありがとうございました。建設的で貴重なご意見もいただき、本校の強みや弱みが明確となりました。その一つが、児童生徒が、落ち着いて学校生活を送ることができていることと、家庭や地域の方々を支えられことが関連していることを再認識させられました。そして学習を中心に、仲間とともに学校生活を前向きに取り組んでいることも確認できました。一方、課題となる項目は原因を追究し解決に向け努力していくとともに、肯定的評価はさらに継続できるようにしてまいります。

これからも河合の子どもの良さを大切にしながら、さらに伸ばしていけるよう力を尽くしていきます。今後とも本校教育活動にご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い致します。